

岐阜県立山県高等学校

学校長 伊藤 崇
学校住所 岐阜県山県市中洞44-1 電話 0581-52-1551

- 1 会議の名称 岐阜県立山県高等学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
委員 荒深 幸夫 1期目(欠席)
鷺見 明俊 3期目(欠席)
前田恵津子 2期目
山口 竜司 1期目(欠席)
山本 義明 3期目 (委員名は五十音順)

学校側 廣田 直子 P T A会長
伊藤 崇 校長
浅野 和道 教頭
磯部 典之 事務長
笠原 常豊 教諭(教務主任)
岩井 憲司 教諭(生徒指導主事)
山本 通広 教諭(進路指導主事)
- 3 会議の目的 岐阜県立山県高等学校の学校運営について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目標とする。
- 4 会議の開催 日時：平成31年2月14日(木) 9:30~11:30
場所：山県高等学校 校長室
出席者：委員2名と学校側7名が出席
- 5 会議の概要 9:30 学校長挨拶
教頭より 日程及び資料について説明
学校評価アンケートの結果について説明
9:40 成果と課題について各分掌の自己評価報告
報告1 教務部、生徒指導部
9:50 授業参観(第2限)
10:20 各部活動部長による年間活動報告プレゼンテーション
10:40 成果と課題について各分掌の自己評価報告
報告2 進路指導部、家庭・地域との連携
学校関係者評価および意見交流

(1) 成果と課題について各分掌の自己評価報告

●学習指導について 教務部

選択授業や少人数授業、習熟度別授業が、学習理解につながっていると評価されている。個々の能力に応じた指導についても80%以上に良い評価をもらっている、好評価が大幅に増えた。しかし、学習実態調査によると、家庭学習への取組みは例年と同じく良くない。その結果として未提出課題を多く抱える生徒も見られる。課題補充を実施しているが、家庭での学習習慣をどう身に付けさせていくかが、本校の生徒には大きな課題である。

●生徒指導について 生徒指導部

いじめへの対応に関するアンケート項目は好評価をいただいたが、特別指導の数が今年度は非常に増加した。その内容からは人間関係の幼さや、コミュニケーション能力の低さが見られる。規範意識の低下も顕著に感じる。貴重品の盗難がみられ、貴重品管理について指導を徹底する必要がある。いじめや中傷、発達障がい支援等については教員の研修をより深める必要がある。

●進路指導について 進路指導部

就職希望者が70%近くになっている。そのうち84%が内定した。進学希望者はおよそ30%でやはり80%が内定した。例年以上に未定者が多くなっている。就職と進学とで迷い、本人の取り組みの遅さが目立つようになった。就職者は県内へ、進学者は愛知県（名古屋市）へという傾向が続いている。県としては上級学校卒業後に県内へ戻ってもらうための取り組みを考え始めている。

●家庭・地域との連携 教頭

昨年度からホームページの更新数を増加させ、情報発信を積極的に行ったが、担当者の負担があまりに増加したため、更新件数を220本から130本へと若干抑えた。しかし訪問数は1日60～70件と多い状態が続いている。行事の案内も配信しているが、保護者の参加率は高くない。地域との交流は、中学校部活動との合同練習や吹奏楽部の依頼演奏を多く実施し、科学研究部が実験講座で小中学生と交流するなど積極的に活動している。文芸部は、全国高校総合文化祭への出場権を獲得、歴史研究部も岐阜県高文連の依頼でOP参加し発表する予定である。

●事務部 事務長

永年の懸案であった生徒昇降口が遂に完成した。第1回会議で指摘のあった、体育館2階北側の、劣化した靴の上下区域分け用マット（ジョイントすの子）について交換が完了した。また、1月にゼミナール室の床材を木質化した。県産材の栗の木を使用している。また、普通教室のエアコンは、6月までに設置完了の予定である。

(2) 学校評議員からの意見（学校関係者評価）

○意見1

授業からも、先生方の一生懸命さが伝わってくる。今年も含めてこの先、これだけ多くのこの工事が予定されているのは、事務長さんの頑張りも大きいと感じている。屋上の校名看板は、撤去しないとのことで、明るい色に塗り替えてもいいのかなと思う。地元では「学校がなくなる」というわきが絶えない。単位制に変わり工業系も学べるという情報は、地元には知られていない。就職者が多く、なかでも製造業が多いことから、工業の科目について強くアピールしてもらいたい。アンケートは「C」の割合に注目すると改善されたものが多数見られ、先生方の頑張りや努力の結果だと思う。今日の授業では、分割授業による少人数学習が、すでに（AL）グループ学習の様相があり、これも宣伝して行きたいものだと思う。家庭との連携が難しくなっているのは事実で、身だしなみについても100%は望めないのかもしれないが、粘り強く、根気強く指導を続けることが大切だと思う。こういう学校で先生方の力はつくとおもっている。

○意見2

アンケートから「A」「B」合わせて80%に達する項目が多く、目的が達成されていると感じた。「C」の割合が多い項目は、内容から判断しても、家でのしつけや資質の問題が多いと思う。部活動の加入生徒数がここまで減少しているのには驚いた。特に吹奏楽部は、地元の中学校では人気なのに、この人数になっているとは思わなかった。部活動数を実情に合わせて減らす時期なのか、このまま部活動の選択肢を維持するのか迷うところである。

○意見3

学校評価アンケートは10名の抽出とあるが、どうやって決められているのか。全員に取っていないのは何か理由があるのか。集めやすい人に偏っていないかと思う。回収率が低いことも理由にはあると思うが、機械的に出席番号などで抽出して回答を求めているのだろうか。

6 会議のまとめ 校長

本日は、貴重な意見をありがとうございました。単位制普通科と工業系の学びについては、ホームページだけでなく「広報やまがた」など市の広報紙にも掲載をお願いしていきたい。平成31年度入試から募集定員が40人減って120人となります。しかし、中学生の数も著しく減少してい

くので、定数減となってもこれを満たすのは容易ではないと考えています。

学校設備としては、平成31年度から32年度にかけて、南舎、北舎の外壁やトイレの改修工事が予定されています。また、電子黒板として使用するため、教室黒板のホワイトボード化と、プロジェクターを設置する予定です。

今後、学校運営協議会の設置が求められており、学校評議員会を兼ねることができるということなので、数年後には違った形で学校運営にかかわっていただければと思っています。本日は本当にありがとうございました。

学校評議員の意見に対する対応状況処理表

学校番号 16

学校名 岐阜県立山県高等学校

平成30年度 学校評議員による会議 第(2)回終了後

月 日	大分類	小分類	意見の要点	対応状況
第1回	③その他	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館周囲に設置してある、靴の上下使用の区域分け用マット（ジョイントすの子）が、経年劣化で破損している。改修の予算請求をする必要がある。 ・教室があまりに暑いので、エアコンの設置は無理なのか。せめて扇風機の増設をしたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算措置ができ、2月8日に改修が完了した。
	③その他	学校施設		<ul style="list-style-type: none"> ・県からの予算措置で、平成31年度6月までに普通教室12部屋に設置予定となった。
第2回	①学校運営	広報	<ul style="list-style-type: none"> ・単位制普通科となり、工業系の科目も学べることは、中学校には説明してあると思うが、地域は知らない。宣伝して地域にも知ってもらわなければならない。 ・学校評価アンケートの対象者が一定の人になっているような気がする。 ・部員数が減少しているのに、部活動数が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページだけでなく「広報やまがた」など市の広報紙への掲載もお願いしていく。
	③その他	学校評価		<ul style="list-style-type: none"> ・出席番号などで機械的に抽出する案も考慮する。
	③その他	部活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動数については昨年度も検討したが、多すぎるという結論には至らなかった。しかし、現状を鑑み、今後も検討していく。